

## 一般社団法人日本珠算連盟 段位認定試験受験者への注意

昭和49年 4月 1日改正  
平成26年 4月 1日改正

### 1. 答案記入上の注意

- ①答は、定められたらんの中にはっきりと書くこと。
- ②答の1の位または円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」をつけること。
- ③無名数の答は、次の例のように書くこと。  
(例) 0.25      1,427.39      2,905,406
- ④端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。  
(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595.....	0.460    0.46
5.2004.....	5.200    5.2
- ⑤端数の処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。  
(例)      そろばん面      答  
          0.45.....    0.45  
          5.2 .....    5.2
- ⑥名数の答は、次の例のように書くこと。  
(例) ¥9,528    ¥9,528.    9,528  
〔注〕 答の頭には、円の記号(¥)をつけるのが原則であるが、つけなくてもよい。
- ⑦答をたてに書いたり、二段に書いたりしないこと。
- ⑧答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- ⑨答を書き直す場合、定められたらんの中に書けないときにはらん外に書いて、答の頭にその問題の番号を○または( )でかこむか、そのらんまたはその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- ⑩コンマや小数点は、数字のあいだに書き、数字にふれたり、数字にかさならないようにすること。
- ⑪同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。

### 2. その他の注意

- ①計算開始の合図があるまでは、文ちん・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- ②計算開始の合図があるまでは、問題用紙をおらないこと。
- ③アラーム時計を使用するときは音を出さないようにすること。
- ④珠算種目であっても、そろばんを使用しないで計算してもさしつかえない。
- ⑤受験票を紛失したり、忘れていたりしたような場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- ⑥携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。

付 則

この注意は、平成 3年4月1日から実施する。

付 則

この注意は、平成15年4月1日から実施する。

付 則

この注意は、平成25年4月1日から実施する。

付 則

この注意は、平成26年4月1日から実施する。

### 珠算能力検定 1・2・3 級試験受験者への注意

制定 昭和 28 年 4 月 1 日

改定平成 25 年 4 月 1 日

- 1 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
- 2 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
- 3 受験するときに持参するもの。
  - (1) 受験票
  - (2) 筆記用具
  - (3) そろばん
  - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。

#### 4 答案記入上の注意

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
- (2) 答の 1 の位又は円の位以上には、3 位ごとにコンマ「,」を付けること。
- (3) 無名数の答は、次の例のように書くこと。  
(例) 0.25      1,427.39      2,905,406
- (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。  
(例) 小数第 3 位未満の端数を四捨五入したとき。  
                        そろばん面                                  答  
                        0.4595 …………… 0.460      0.46  
                        5.2004 …………… 5.200      5.2 (5.20 とは書かないこと。)
- (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。  
                        そろばん面  
                        0.45 …………… 0.45      .45 (0.450 又は .450 とは書かないこと。)  
                        5.2 …………… 5.2 (5.20 又は 5.200 とは書かないこと。)
- (6) 名数の答は、次の例のように書くこと。  
(例) ¥9,528    ¥9,528.    ¥9,528-    9,528  
(¥9,528.0   ¥9,528¥   ¥9,528 円   9,528¥のような書き方はしないこと。)  
[注] 答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
- (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は( )で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
- (11) コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。

#### 5 その他の注意

- (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- (2) 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
- (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
- (4) 受験票を紛失したり、忘れてしまった場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。

## 珠算能力検定 4・5・6 級試験受験者への注意

制定 昭和 49 年 4 月 1 日

改定 平成 25 年 4 月 1 日

- 1 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
- 2 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
- 3 受験するときに持参するもの。
  - (1) 受験票
  - (2) 筆記用具
  - (3) そろばん
  - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
- 4 答案記入上の注意
  - (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
  - (2) 答の 1 の位又は円の位以上には、3 位ごとにコンマ「,」を付けること、が原則であるが付けなくてもよい。
  - (3) 名数の答の頭には、円の記号（¥）を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
  - (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
  - (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。  
(例) 123, 456  
~~123, 456~~
  - (6) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は（ ）で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
  - (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。
- 5 その他の注意
  - (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
  - (2) 計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
  - (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
  - (4) 受験票を紛失したり、忘れてしまった場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
  - (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。